

平成15年度第3回臥竜山麓自然再生事業検討協議会議事録

- 1 日 時 平成15年12月22日(月) 9:30～11:30
- 2 場 所 広島市安佐北区可部四丁目12番1号
広島県芸北地域事務所 第2庁舎5階 第1会議室
- 3 出席委員 委員総数8名中7名出席(末尾に出席委員一覧表記載)
- 4 議 題 (1) 第2回検討協議会の検討事項について(報告事項)
(2) 調査業務中間報告について(報告事項)
(3) 16年度調査計画について(討議事項)
(4) その他(報告事項)
 - ア 次期開催時期及び場所について
 - イ 次年度以降のスケジュールについて
 - ウ 協議会の組織化(再構成)について
- 5 担当部署 広島県環境生活部環境局環境創造総室自然環境保全室自然公園整備グループ
電話:(082)513-2932(ダイヤルイン)
広島県芸北地域事務所農林局林務第一課自然保護係(事務局)
電話:(082)814-3181(内線445～447)
- 6 会議の内容
議題(報告事項)
 - (1) 第2回検討協議会の検討事項について【資料1】
事務局から資料1により, 議事録及び報道記事, 委員意見とその対応, 修正箇所について報告した。
 - (2) 調査業務中間報告について
 - ア 委託業務について【資料2】
事務局から資料2により, 水文(すいもん)調査, 植生調査, 土壌調査の各調査状況について報告した。なお, について, 地点ごとに土壌調査結果の値に差があるが, 今回の調査結果の程度であれば, 植生にはほとんど影響を与えない旨, 報告した。
 - イ 委託外業務(県立林業技術センター)について【OHP資料】
事務局からOHPにより, 衛星データによる融雪氾濫原の推定について報告した。
議題(討議事項)
 - (3) 16年度調査計画について【資料3】
事務局から資料3により, 次年度調査計画(植生調査, 水文調査及び動物調査等), 測量図について説明した。委員から, 次のとおり意見が提出された。

主な意見

ア 平年並の気象時における水文調査について

- ・ 15年は前半の半年は大雨が降り、8月からはカラッと晴れ、肌で感じる限り異常気象であったので、平年並の気象時についても水文調査を行うこと
気象庁「2003年の天候」(平成16年1月5日報道発表資料)によっても、当該地域の年降水量は平年より多い地域に分類されている

イ 地域との連携について

- ・ 「湿原を守る会」等地域で活動を行っている人々と話し合う機会を検討すること
- ・ 自然再生事業の地元への周知を図ること
- ・ ハード事業(ただし実施する場合)完成後の管理等のあり方を検討すること

議題(報告事項)

(4) その他

事務局から、次のとおり報告した。

ア 次期開催時期及び場所について

第4回(今年度最終)会議を2月下旬又は3月上旬の間に行い、場所と合わせて事務局で調整する旨

イ 次年度以降のスケジュールについて

16年度は調査を継続し、17年度は環境省との事務手続き(自然再生推進計画送付、自然公園等事業要望)等を進め、18年度以降に事業実施予定である旨

ウ 協議会の組織化(再構成)について

16年度以降の協議会は、自然再生基本方針(平成15年4月1日閣議決定)に対応させるべく現在の委員に公募で選ばれた委員等を追加して再構成する予定である旨

7 会議資料

次第

資料1 前回協議会の議事と課題

- ・ 議事録及び報道記事
- ・ 委員意見とその対応
- ・ 修正箇所

資料2 調査報告

- ・ 水文調査
- ・ 植生調査
- ・ 土壌調査

資料3 その他の資料

- ・ 次年度調査計画
- ・ 測量図

出席委員一覧表

分野	氏名(敬称略)	所属職名等	備考
専門家(植物)	中越 信和	広島大学教授	会長 (欠席)
専門家(動物)	水田 國康	広島虫の会会長, 元県立大学教授	
NPO(非営利団体)	近藤 <small>こうじ</small> 紘史	西中国山地自然史研究会会長	
地元住民代表	河野 政邦	地元総代会会長	
芸北町	岡本 進	助役	副会長
広島県	有田 <small>まさき</small> 正希	芸北地域事務所農林局長	
	池田 作太郎	県立林業技術センター森林環境部長	
	小松 光二郎	環境生活部環境局自然環境保全室長	
合計	8名		出席7名